

器 1 2 理学診療用器具
一般医療機器 湿式ホットパック装置 3 8 4 6 9 0 0 0
タイガーハイドロ R-1030-N

【禁忌・禁止】

- ・以下の症状を示す人、又は診断を受けた人への使用はしないこと。
 - ①重篤な末梢神経傷害、②急性の炎症及び外傷、③悪性腫瘍及び肉腫、④潰瘍がある場合、⑤高血圧症で重症の場合、⑥高熱時及び衰弱時、⑦その他医師が不適当と判断した場合。
- ・他の治療器との併用は行わないこと。機器の誤作動の原因になります。

【形状・構造及び原理等】

本体、パック立て及びパック取り出し金具から構成される。

本体内のヒーターにより槽内の水等を加温し、水中等のホットパックを所定の温度にて保存する。

【使用目的又は効果】

ホットパックを温水等で所定の温度にて保存する。

【使用方法等】

- ① 排水栓が閉まっていることを確認してください。
- ② 水を規定量槽に入れ、槽内にホットパックを挿入してください。
- ③ 電源プラグをコンセントに接続し電源スイッチを「ON」にしてください。
- ④ 標準プログラムで動作を開始します。温度設定、時間設定及びタイマープログラムの確認と必要な場合再設定を行ってください。
- ⑤ 温度表示パネルで 80℃前後の温度を示せば治療に使用可能です。

【使用上の注意】

- 1) 設置場所について、次のような場所を避けること。
 - ・水のかかる恐れのある場所
 - ・傾斜、振動、衝撃のある不安定な場所
 - ・高温・多湿な場所
 - ・直射日光、ほこり、塩分、硫黄分を含んだ空気等により、悪影響を受けるおそれのある場所
 - ・化学薬品の影響やガス発生のおそれのある場所
- 2) 電源は適正に配線されたコンセントを使用し、保護接地線を正しく接続すること。保護接地線をガス管・水道管には絶対に接続しないこと。
- 3) 機器の改造や修理を独自で行わないこと。
- 4) 治療中は患者や機器の作動状態に異常がないか注意すること。
- 5) 故障のときは電源を切り、「故障・使用不可」等の適切な表示を行い、取扱店または、メーカーの修理が完了するまで機器に触れないこと。
- 6) 治療の前には必ず槽内の温度を確認すること。
- 7) 水量は、常に規定量入っていること。
- 8) 水は定期的に交換すること。
- 9) 機器の槽内などを定期的に清掃すること。

【保管方法及び有効期間等】

- 1) 使用環境条件
周囲温度範囲：10～40℃
相対湿度範囲：30～75%（結露状態を除く）
気圧範囲：860～1060hpa

- 2) 保管環境条件

周囲温度範囲：-10～50℃

相対湿度範囲：30～80%（結露状態を除く）

気圧範囲：860～1060hpa

【取扱い上の注意】

- 1) 取扱いを間違えると不具合を生じることがありますので、使用方法、使用上の注意などを厳守してください。
- 2) 消耗品、残留物など、並びに寿命の終わった機器及び付属品の廃棄に関しては、地域で定める条例に従って廃棄してください。

【保守・点検に係る事項】

- 1) 使用前後の点検を常に励行し、故障または異常が認められた時には、販売店又は製造販売業者に点検（修理）を依頼して下さい。
- 2) 製品の詳細な保守・点検事項は、本製品付属の取扱説明書を参照してください。
- 3) 故障した場合は、販売店又は製造販売業者に連絡してください。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

タイガー医療器株式会社

電話：072-924-7878（代表）

取扱説明書を必ずご参照下さい。